

経済史概論Ⅱ

科目ナンバリング ECH-102
選択必修 2単位

四谷 英理子

1. 授業の概要(ねらい)

現在を理解し、未来を切り拓くためには、歴史を学ぶことが不可欠である。
この授業では、「市場経済」あるいは「資本主義」といわれる現在の社会経済システムがいかに成立し発展してきたのかを学ぶことにより、歴史的な視点から、今日の世界や日本の状況を把握する力を養うことを目指す。

なお、経済史概論Ⅰでは、イギリス産業革命の時代までを対象とし、経済史概論Ⅱでは、20世紀初頭までを対象とする。

2. 授業の到達目標

- (1) 歴史的事実をその背景や影響も含めて深く理解し、説明することができる。
- (2) 歴史的・国際的な視点から、現在の経済社会を理解することができる。

3. 成績評価の方法および基準

平常点(リアクション・ペーパー、宿題等)20%、期末試験80%

4. 教科書・参考文献

教科書

プリントを配布する。

参考文献

馬場哲、山本通、廣田功、須藤功 『エレメンタル欧米経済史』 晃洋書房、2012年。

小野塚知二 『経済史：いまを知り、未来を生きるために』 有斐閣、2018年。

奥西孝至、鳩澤歩、堀田隆司、山本千映 『西洋経済史』 有斐閣、2010年。

上杉忍、山根徹也編 『歴史から今を知る：大学生のための世界史講義』 山川出版社、2010年。

5. 準備学習の内容

・授業で配布したプリントを読み直し、各トピックについて自分の言葉で説明できるようにしておくこと。

6. その他履修上の注意事項

- ・他の受講生の迷惑になるため、私語は厳禁。
- ・期末試験は持ち込み不可で行う。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション：経済史概論Ⅱの授業の内容、進め方、成績評価の方法について説明する。
- 【第2回】 経済史概論Ⅰの内容の復習
- 【第3回】 イギリスの産業革命(3)：国際的影響
- 【第4回】 ヨーロッパ大陸の産業革命
- 【第5回】 アメリカ合衆国の独立と領土の拡張
- 【第6回】 南北戦争とアメリカの経済発展
- 【第7回】 「ボックス・ブリタニカ」と自由主義経済政策
- 【第8回】 2～7回の内容の復習
- 【第9回】 第二次産業革命と大企業体制
- 【第10回】 グローバル化の展開と移民
- 【第11回】 世紀転換期のイギリス経済
- 【第12回】 世紀転換期のドイツ経済
- 【第13回】 世紀転換期のフランス経済
- 【第14回】 世紀転換期のアメリカ経済
- 【第15回】 まとめ